



## 4月の自然予報

**4月上旬、カタクリの花が満開になります！見ごろは4月1日から10日ごろまで。  
小鳥の森の「春の妖精」を見に来てください！**

### カタクリの花はどこに咲くの？

まだ木々の新葉が出ない早春、陽の光があたる明るい林床に咲きます。カタクリの花が咲くようになるまで約7年。その長い歳月をたった1枚の葉で養分を蓄え、力強く生きています。長い時間をかけて咲いたカタクリの花は多くの人に愛されています。



**花の日数**・・・花の命は10日前後。昼咲いて夜は閉じる。

**花の色**・・・ほとんどがピンクですが、数万本に1本白いカタクリが咲くと言われています。小鳥の森でも見つかっています。

**花びらの枚数**・・・6枚。稀に8枚あることも。

**花の模様**・・・花の内側には蜜標（みつひょう）があり、1つ1つ模様がちがう。蜜のありかを昆虫たちに教えるためにあると言われる。



1枚だけでた葉

### カタクリはどうやってふえるの？

カタクリの種にはエライオソームと呼ばれる物質がついています。これはアリの大好物。カタクリの種ごと巣へ運びます。その後、アリは種からエライオソームだけを取り、種本体は巣の外へ捨ててしまいます。アリに捨てられた種は、親株からはなれた場所で、芽を出します。このようにカタクリはアリの力を借りて分布を広げていきます。



### 小鳥の森でカタクリが群生する理由

かつてカタクリは身近な植物で根から片栗粉をとるほどたくさんありました。カタクリが生育するためには毎年早春に陽の光を十分に浴びる必要があります。以前の里山では落ち葉かきや下草刈りなどが行われ、林床に十分な陽の光があたっていました。しかし近年多くの里山は人の手が入らず放置されたため、林床に光が当たらなくなり減少しています。小鳥の森では里山の自然を残すために定期的に手入れを行い、カタクリの生育地を保護しています。カタクリの保全を始めてから約15年。現在では1ヘクタールほどの里山の斜面に鮮やかなピンクの花をみることができます。

## ツバメ

分類：ツバメ科 全長（翼開長）：17 cm～18 cm

生態：夏鳥として東南アジアから日本に渡って来ます。家の軒下に泥土やワラなどを材料に唾液で固めたお椀形の巣を作ります。食べ物はアブやトンボなどを食べ、飛びながら捕まえます。繁殖が終わると大きな群になり、ヨシ原などをねぐらとし、長い渡りに備えます。

鳴き声：チュビッ、ツピッなど。聞きなしは「土食って虫食ってしび〜い」。

小鳥の森での観察：

小鳥の森の夏鳥第1号です。観察広場の上空で3月下旬から4月上旬に初確認されます。



ツバメのイラストはどうかだいごくんが描いてくれました。

今月号は鈴木チーフレンジャーです。

### ウグイスから身近な自然を見直す

春告鳥は鳴きましたか？

日本三鳴鳥の一つであるウグイス（他はコマドリ、オオルリ）は、春告鳥とも呼ばれています。繁殖時期には、例えば福島では吾妻山の鳥子平などの亜高山帯まで広く分布しますが、冬期は平地に下りてきています。春の深まりとともに標高の高い場所へ移動する（戻っていく）個体が出て、ウグイス前線が山の方と上がっていきます。ホトトギスの托卵先でもあり、山間部では夏に両種の声と同じ場所で聞かれることもしばしばあります。

ウグイスの効用？

昔、ウグイスのフンを顔に塗ると美容効果があると祖母が言っていました。冗談だろうと思っていましたが、糞にはリゾチームなどの加水分解酵素が含まれ、肌に塗ると角質層が柔らかくなるようです。「ウグイスの粉」なるものが市販されているらしく、古くから美顔料としてあるということには驚きました。

ちょっとした緑地があることの証明 - 林と藪環境の組み合わせ

本種は、ヤブ環境で繁殖します。巣はササやススキなどの長くて柔らかな葉を編みこんで、藪奥部に作ります。繁殖するためには、子育てに十分な食物（昆虫）が確保できるヤブの広さ、天敵の猛禽類やカラスそしてヒト目につかないようなちょっとした林などの要素が必要です。一口に「ヤブ」といっても、「林や竹林、巣材料となる植物が存在し、草が密に繁ったある程度の広さがあるヤブ」、がウグイスには必要なんですね。身近な場所や散歩コースではウグイスが何羽ぐらい鳴いていますか？地図にその場所をつけてウグイスマップを作ってみてはいかがでしょう？ それはすなわち生物が共存できる緑地のグリーンマップでもあります。身近な環境がウグイスのいつまでもさえずることができる環境であってほしいですね。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時  
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.wbsj.org/sanctuary/fukusima/>

小鳥の森通信[しじゅうから] 2011年4月号№311/企画・発行：福島市小鳥の森/（財）日本野鳥の会・サンクチュアリ室